

第60回通常総会 会長あいさつ

令和3年5月21日

城山ホテル鹿児島

本日は、令和3年度通常総会のご案内をいたしましたところ、皆様には何かと、お忙しい中ご出席をいただき、心より感謝申し上げます。

鹿児島県からは知事代理として土木部次長の橘木 竜一様と、土木部監理課長の本多 公明様、また、厚生労働省 鹿児島労働局からは、局長の三輪 宗文様に、ご出席をいただいております。ご来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

先ほどの表彰式におきまして、昨年度の叙勲、褒章及び国土交通大臣表彰の受賞者の「顕彰」と本年度の「全国建設業協会表彰」の伝達、並びに「県建設業協会」の表彰を行いました。

受賞された皆様は、いずれも永年にわたり、本県の建設業の発展に尽力され、多大な貢献をされた方々でございます。

心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝と、今回の受賞を契機に、後継者の育成をはじめ本県建設業界の発展のために、一層のご精励あらんことを、ご祈念申し上げます。

申しあげるまでもなく、我々建設業の使命は、社会資本の建設や維持

管理を通じて地域社会の発展を支えるとともに、災害時における活動等により、地域の安全・安心を確保することにあります。

減災、防災、国土強靱化への対応が強く求められる今日、建設業の果たすべき役割が重要性を増す一方、生産年齢人口が減少するなかで、担い手の確保・育成・定着や、働き方改革への対応が喫緊の課題となっております。

去る3月30日に赤羽国交大臣と建設業4団体のトップのあいだで、意見交換が行われ、官民連携して「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の公共工事の円滑な施工確保に取り組むこと、建設キャリアアップシステムの普及促進のため、官民あわせて取り組んでいくことが確認されました。

また、技能労働者の賃金引上げについて、本年は概ね2%以上の賃金上昇の実現を目指し、全ての関係者が可能な取組を進めることとなりました。

このほかに、九州・沖縄ブロック土木部長等会議では、ICT活用工事の普及・拡大、週休2日工事の普及・拡大、遠隔臨場活用工事の普及・拡大などについて共通目標を定め、実現に向けて、国・県・政令市の各機関が鋭意努力するとされております。

我々、建設業としても、こうした時代の潮流を真剣に見極めながら、持続可能な業界の確立に向けて、積極的に取り組んでいく必要があるのではないかと思う次第です

同時に、これらを実現するためには、安定的・持続的な公共事業予算の確保が不可欠であることは申し上げるまでもありません。

県においては、令和2年度の3月補正予算と、令和3年度の当初予算、合わせて5.6%増の予算を確保していただき、本格的な発注が始まっておりますが、今後の予算確保の面からも、不調・不落の防止などに全力で取り組んでいく必要があると考えております。

また、最低制限価格や労務単価の引き上げ、諸基準の改正など、入札・契約制度についても着実に改善が進められております。

塩田知事をはじめ関係部局の皆様には、衷心より感謝申しあげ、引き続きのご支援をお願いする次第です。

私どもといたしましても、技術と経営に優れた会員企業が、地域で信頼され、円滑な事業継続ができるよう、今後とも、受注機会の確保をはじめ、入札・契約制度の改善に向けた要望活動や労働災害の根絶など、積極的な協会活動に取り組んでまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症の渦中にありますが、建設業は事業継続を求められており、会員の皆様には、感染リスクを抱えながら、現場の最前線で業務を遂行されております。引き続き万全の感染防止対策や、働きやすい環境づくり、そして1日も早い収束に全力で取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

本日は、総会スローガンとして「建設業の働き方改革と担い手の確保・育成・定着」、「県土の強靱化と災害支援の強化」、「社会的責任の

実践と公正な事業活動の推進」、「労災死亡事故の絶滅と交通事故防止の徹底」という4つの柱を掲げております。

今回、提案されております各議案の審議が円滑に進みますよう、皆様方のご協力をお願いいたしますとともに、ご臨席の皆様の、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくをお願いいたします。